時事新報定價
[illegible]
[illegible]
[illegible]
時事新報廣告料前金

一行五號活字仕切字前	一行ニ付	一日限	二日以上	七日以上
	十二錢	十一錢	十錢五厘	

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に隅り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

商權回復の實手段（昨日の續き）

年來我開港場に居留する外國人は我商人の幼時を知る者にして商權回復を其前に願るも耳を傾くるものに非ず左れば商權回復論者は先づ手始めに外國に至りて直接に彼の商人と取引を開き今我國產第一の生絲に就て申せば兼ねて其商賈の經驗ある人々が百萬圓あり二百萬圓あり相應の資本を寄せ合せて米國紐育、佛國里昂等に商店を開き倉庫を造り內國にては產地に就きて成る可く精良の絲を仕入れて之を海外の出店に送り之を其倉庫に蓄めて時々の相場を見計らひ便宜之を賣り出すか或は彼の地機屋よりの注文を受けて夫れ〳〵其仕入方を周旋するか何れにしても信用を重んじ確實を旨として之れに當らば追々直輸の道も開けて我生絲商人は居留地外國人の制御を死かれ居留地外國人が無法を働き我足元を窺ふて之を蹈み倒さんとするともあらば直輸會社は之を截ふて其勝手我儘を許さず我手を以て亂々と絲荷を海外に送り先方需要者との直取引に因りて彼等の商賈を外國に開き以て實地商權の擴張を謀る可きなり斯くて我生絲商人が商會社を設けて海外商人と直取引を開き果して其得意先を作るみとを得べきやと云ふに古今商賈世界の定則ふ於て品物の精良にして下直なるものが最も人の受願を蒙り其持主は何人たるも之を問ふ者なきが故に我直輸出會社にて初より充分の資本を備へ成る可く其費用を減じて成る可く其品質を精選し堅固深切長く操を變せずして彼の國人の信用を得たらんには今日在横濱の外國人を相手にして亂暴不整頓の賣買法に依頼するの比に非ず現に一昨年前の事なり横濱の生絲商人が資本金五十萬圓を以て生絲直輸會社を組起せんとしふるを聞き佛國里昂にて一二を爭ふ大機屋が同社と特約を結ばんとてワザ〳〵申越したるとあり然るに爾來横濱ふ彼の共有物の都賜ありて同地に重も立ちたる商人は何れも其爭に忙はしく彼の直輸會社の事も何時の間にか消え失せて今は其影さへ留めざるやうの次第なれども共有物都賜事件も既に其落着を見たるの今日、再び直輸談を返魂していよ〳〵會社を起し數後數年間、彼の地ふ得意先きを作るまでは年々多少の損失あるも之を忍みずとまでふ決心したらんには萬事に特約を言ひ込みたる里昂機屋の如きもの次第〳〵に出て來りて直輸の網の成り立たざる筈なく今米國直輸出と横濱商館賣りとの損益を比較したる者を見るに踏雜量差引米國直輸の利益あるみとと之を横濱商館賣りに比して生絲百斤に付き十六圓餘りと云ふ然るに明治十二年生絲直輸を勵既してより今日只今に至る迄勘定合て餘足らず縱令へ全く損失せざるも大に利益したる者あるを見ざるは決して偶然の事に非ず從來我が生絲直輸を取扱たる者は生絲仲買の資格を以て里昂若くは紐育に出店し日本內地の荷主より海外販賣の委托を受けて其絲荷を海外得意先きに賣り込むの趣向なるが故に直段の高低、損益の多少、總べて荷主の負擔にして直輸會社は之れに關せず唯その手數料さへ取れば夫れにて滿足する者にして絲の精粗、彈力光澤の異同等閑より問ふに暇あらず五梱にても十梱にても依托さるゝまゝ之を賣り捌くに忙はしくして絲の品質を取り揃ふなど自家の利害として改良を謀るの遑あらざるが故に彼の地機屋の間には日本生絲中時に精良の者を見出すふとあるも其梱數の少きが爲め重もに之を横絲に使ふて縱に用ふるみと少なく隨て直段も低く賣るも狹きの氣味ありと云ふ此他從來直輸業を試みて毎度失敗したる者は政府の保護等を當てにして時に或融資てにならず或は自家の資本を以て事に當るみとあれば其資本の輕少なるが爲め一時商況の逆運に遙へば其順運に復するの時を待つに由なく買手に足元を見すかされて泣く〳〵投げ賣りの窮策に出でたる等の事情ありしが故にして其失敗は商人の大に研究す可き所のものあり蓋し我輸出品中輸出に外國人の手を假るものは獨り生絲のみに非ず茶、米、陶、漆器の類を始めとして日本人は唯之を製作するに止まりたか〳〵之を開港場まで持ち出せば其後の事は總べて外國人の手ふ移り之を海外に運送する其船は外國船なるが故に船賃は固より彼の手に落ち扨て之を需要地に送りて賣り捌く其利益は悉く外國人の利益たらざるなし誠に言ひ甲斐なき次第なれども物を賣るには彼れを得意先きとして我れは其機嫌を取り世辭上手に商賈するみと肝要にして從來外國貿易の經驗ある日本人には頗る六箇敷き事ならんと云へば是れ亦是非もなき次第ありとして然らば輸入品に就ては如何と云ふに矢張外國人の手に掛り日本人ふして自から直輸入する者は極めて稀なるもの〳〵如し請ふ其次第を次號に陳せん（未完）

官報

○民法の誤字　去月二十三日より本紙附錄として引續き配布する法律第二十八號民法中第一編第十五行及ノ下「ヒ」ノ字ヲ脫ス三頁上段十九行被補者ノ下「ヘ」衍四頁上段十七行操一ノ下「又ハ任意」ノ四字一〇頁上段二十五行スルノ下同下段二十九行除クノ下一四頁下段九行從フノ下「ノ」ノ字ハ誤モ衍一七頁上段六行證據ノハ誤ハ誤チ二二頁下段二十二行左ノ如シハ之ヲ左ニ掲ス二グノ誤モ誤二六頁上段二十四行草數ノ下「ヽ」ヲ脫ス二七頁上段二十二行離ノ下「ト」ノ字ハ衍三〇頁上段十一行附記ハ登記ハ附記同十二行登記ハ附記同十八行記載ハ附記同下段六行當時者ハ當事者ノ誤モ衍なり（官報ニ由リ是正ス）

○宮內省告示第十五號

輦上

皇后兩陛下來ル五月五日京都　御養蠶名古屋御泊六日東京　還幸仰出サル

明治廿三年四月三十日　宮內大臣子爵土方久元

○北米合衆國生絲課稅案否決　生絲に輸入税を課せんとする議案は否決せられたりと去月二十七日附電報を以て在紐育帝國領事廳井三郎より報告あり（農商務省）

雜報

○紡績事業の盛衰　紡績事業は數年前より非常の繁昌を呈し其大なるもの數十萬圓より百餘萬圓迄の資本金に對して多きは三割寡きも一割五六分の利益配當を爲したるとは世人の尙ほ記憶ふ存する處なり之に依て東京に大坂に其他の地方に於ても紡績會社は俄然として勃興し我工業を師る者は先づ第一に指を紡績に折らざるはなく往々は曾に外品の輸入を防ぐのみならず尙ほ一歩を進んには却て遠く其製絲を海外に輸出するならんと迄に大ふ將來の望を屬したる次第なりしが經濟社會の事情は兎角に平穩の儘瀾を保つ能ず種々の原因より盛衰極りなきの變動を生ずるものあり偶ま各紡績會社が工場を建築し器械を据付け既に運轉を始めたるものあり又或は內部の整理して漸く擴張せんとするものもある折柄昨年は米作の不出來にて米價非常の騰貴を爲し引續き諸般の物價も上騰したれば多數の細民は糊口に於てすらなか〳〵の困窮を來し又上流社會に於ては大抵三四年來頻りに勃興したる諸般の工業會社に關係を有する者あるふ是又同時に金融必迫の爲め株券下落の時代ふ遭遇し思ひ寄らざる困難を釀成したれば今は實富擧て浮世の成果を畏怖し遂に事業上に手を控へたるのみならず衣食住にも故らに節儉を事とし進取の念は斷えて唯退守の一方に傾き續て商賈の不景氣と爲り殆んど沈滯極らんとするふ及んで暴に暫く繁昌を極めたる紡績事業も遂に至り忽ち反對の狀況を呈し來り已ふ許多の職工も經驗を積み器械も打揃ふて運轉も滑かに一日の製絲莫大なるに至りたるに一方には捌口意困難なるを致し從て絲價も次第〳〵に下落して本年一月頃には一梱百圓內外ありしものが今日は僅に八十圓乃至八十四五圓の價格を保つに過ぎず例令へ綿の直段は爲に下落したるに拘らず何地の紡績所も今は多く收支相償はざるに至れる折柄偶ま近日銀價非常に騰貴して外國の紡績絲は其割合に下落を來したるものあれば內地の需用者は頓に念を之に注ぐに至り意々一方の輸入を增加せんとする傾きとあり爲に益す不捌を來し或地方の紡績所は製絲を悉皆二三の倉庫に充滿せしめ最早や流通實本さへ覺き果てふるものありて他に之を借用せんか之が金利は益す損失を重ぬる次第なり又或は一時休業せんか折角多年辛苦して養成したる職工は忽ち離散し再び之を纏むるみとなか〳〵容易ならざるを以て何れも嘗て苦痛を忍ぶ覺悟なるも其困難なる事情殆んど云ふべからざるものありと云へり

○支那艦隊に就て　水師提督丁汝昌及び英國海軍大佐ラング氏が指揮する支那北洋艦隊は上海、香港、柴棍等の諸港を經て四月三日新嘉坡に着したるが海峽タイムス新聞は之に就き記載して曰く此艦隊中にある歐洲人は僅に十名のみ此事實は支那軍艦に數多の歐洲士官が乘組み居るならんと考ふる人々を驚かすあらん實際充分に英語を話す支那士官は軍艦中の歐人を后外に置くものゝ如く其談話を聞けば歐人の擔任する職務は支那士官をして當らしむるも差支なく歐人を使用するは必要にあらずと信ずるもの〳〵如し右十名の內二名は英人にして其他は獨逸人なり此艦隊中に獨逸人の勢力あるは都合六隻の內英國にて製造したる一軍艦を除ぜば其他の五隻は獨逸に於て製造したるが爲めなるべし云々

○京城弁觀　當國大學生徒三百五十名、高等商業學校生徒五百六十名、音樂學校生徒六十名（內四十名女生徒）美術學校生徒百六十名、官醫學校生徒五十名、山口尋常師範學校生徒四十七名は何れも一昨卅日午後一時より宮城前に集合して多數の人民と共に萬歲を唱へ盛大なる祝賀を表したり

○東京醫學校　醫學校生徒の及第者は二百五十名の內驗濟の內後期は千名の內科は二千名なりしと云ふ

○京都米穀會社　株主總會を去る廿日午前十時より開きをなす都ひ又外國人をなし朝一石に就き金二十錢でを限り草案中に

○金曜日　々多く吉居らず斯す西洋の き情慾に げんに去 縱覽人な 毎週必ず りも一萬 萬人の入 しに又他 最も多數 入場者あ て見れば の善惡を

○グレン船グレンは六萬二 りと

○小賣商 用品小賣 商二千二 百四十九 鳥類商四 五百七十

○千歲座 今二日午 碁太平記 平館の段 蘭（狼之助 八丁藏喜 頼弘（熙 萩（三津之 天丸（小僧 りく（顚城 度の浦の の此其働 生の與茂 名三十二 （何れも 饅子供三

○上州鐵道　[illegible]